

市民病院だより

男性型脱毛症

内科 尾形 徹

男性の前頭部および頭頂部の毛髪が細く短くなる薄毛、脱毛は男性型脱毛症です。日本人男性の発症頻度は約30%、成人男性800万〜1,000万人が薄毛を気にしているといわれています。多くの場合、40歳代に症状が明確になりますが、早い例では20歳代から薄くなり徐々に進行します。

男性型脱毛症は女性にも発症しますが、男性に比べて少なく、女性の薄毛や脱毛は他の原因によるものが多いとされています。また、一般的に髪の状態は生活習慣とも密接に関係しています。栄養不足や偏り、睡眠不足、喫煙などは髪の成長を妨げます。これらに注意すること

脱毛と男性ホルモンの関係

男性型脱毛症の発症には男性ホルモンが関与しています。男性ホルモン（テストステロン）が前頭部や頭頂部の毛髪に作用するには、まず酵素（2型5αリダクターゼ）によってDHT（ジヒドロテストステロン）に変化し、DHTが男性ホルモンレセプターと結合することが必要です。なお、男性ホルモンレセプターは、ひげや腋毛、前頭部および頭頂部毛の毛乳頭細胞に存在していますが、後頭部の毛髪の毛乳頭細胞にはないことが分かっています。男性型脱毛

症で最後まで後頭部の毛が残るのは、そこに男性ホルモンレセプターが存在せず、男性ホルモンの感受性がないからです。また、ひげにも男性ホルモンは作用しますが、前頭部・頭頂部とは男性ホルモンの作用が異なり、逆にひげの成長は促進されます。

治療方法

男性型脱毛症の発症のメカニズムが明らかになり、治療薬として登場したのが内服治療薬の「フィナステリド」です。2型5αリダクターゼの作用を阻害することで男性ホルモンがDHTに変わるのを食い止め、男性型脱毛症に効果を発揮します。2010年に日本皮膚科学会が発表した「男性型脱毛症診療ガイドライン」では、男性において「ミノキシジル（外用）」とともに推奨度Aの第1選択薬とされました。ただし、妊婦に投与するとDHTの低下によって男子胎児の生殖器官の発育が妨げられる恐れがあることから、妊婦または妊娠の可能性がある女

性、授乳中の女性への投与は禁忌です。なお、最近同系の薬剤である「デュタステリド」が新しく認可されました。これらの薬剤は内服を中止すると男性型脱毛症は再び進行しますので内服を続けることが必要です。効果は早い人で1〜2か月、最低6か月は服用し効果判定をします。

また前記外用の「ミノキシジル（リアップ）」は、一般用医薬品（OTC医薬品）として販売されています。毛包に直接作用して髪の成長を促します。

当院の夕方診療で男性型脱毛症に対し「フィナステリド」を処方しています（医療保険は使えない自由診療になります）。「フィナステリド」はジェネリックができましたので、薬剤費用は大分安くなりました。希望される場合は当院へお問い合わせください。



お知らせ

インフルエンザ予防接種を行っています。

事前にお問い合わせください。

【問合せ】小城市民病院 ☎ 73・2161 ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>